

モビリティマネジメント推進部会

バス事業者インタビュー実施報告

御協力：相鉄バス株式会社

実施日時	平成30年2月21日(水) 9:30~12:00
場所	相鉄バス株式会社 横浜営業所 (横浜市保土ヶ谷区峰沢町 112-1)
参加者	相鉄バス株式会社 営業所職員、運輸課職員(教育担当)、営業計画課職員(経営企画担当) インタビュアー(モビリティマネジメント推進部会委員) 鍋木委員、小池委員、渡邊委員(順不同)

1. バス事業者インタビューのねらい

モビリティマネジメント推進部会の目的の一つであるバスの利用を促す活動を、事業者と協働で行う事で、事業者と利用者それぞれの活動を共有し、公共交通促進活動の活性化を図ります。

またバス事業者に対してのインタビューを動画として記録し、広く発信する事で、公共交通利用促進につなげます。

実際に働いている、運転士や職員にインタビュー形式で様々な質問をする事で、利用者のバス利用に対する日ごろの不安などを和らげ、バスへの親しみやすさを向上させることが期待されます。

バス事業者側から一方的に利用者へ発信すると、収益向上を目的としていると受け取られかねないため、インタビュー当という形式にし、バスを利用している立場からの発信とする事としています。

2. 実施概要

質問項目を、「現場カテゴリー」と「経営企画カテゴリー」に分け、それぞれに6つ程度のテーマを決め、テーマ毎に5分から10分程度の時間で質疑を行いました。

【主な質問項目】

「現場カテゴリー」

- ・ベビーカー利用者への利用方法の案内や一般乗客へ配慮を求める対応等について
- ・車内転倒事故の実態と安全・安心して利用してもらうための工夫について

ほか4テーマ

「経営企画カテゴリー」

- ・バス利用者の減少傾向の中、サービス水準を維持するために必要なことについて
- ・定時運行のための取り組み内容や利用者へのお願いについて

ほか5テーマ

3. 広報方法

モビリティマネジメント推進部会の委員が所属する団体が運営しているバスポータルサイトに、バス事業者へのインタビュー動画にして掲載します。

<当日のインタビューの様子>



営業所の会議室をお借りして、インタビューを受けて頂きました。

<掲載する動画イメージ>



インタビューを受けて頂いた皆さまは、緊張した面持ちでしたが、一つ一つの質問に対して、親身になって御回答頂きました。



4. インタビューを終えて

バス事業者が利用者のために、様々な取り組みを実施している事が分かりました。また、ある程度バスに関心のある委員も知らないことが多々ありました。

このインタビュー動画により、バス事業者が影ながら行っている企業努力を、より多くの利用者へ理解してもらい、安心してバスを利用してもらえる手助けになればと思います。

また、労働人口が減少する中で、今後女性従業員の採用が増加してくと思われませんが、採用する側も、今までの男性を中心とした施設を改修し、男女問わず従業員が過ごしやすい環境の整備に努めていることを知る事が出来ました。

<御協力頂いた、相鉄バス株式会社横浜営業所全景>

